２０２１年
２８１号
１０月２０日（水）

# ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

## 仲間作り月間
## 知人・友人を紹介して下さい

先日、岸田文雄氏が自民党の総裁になりましたが、「年金の問題や高齢者対策」「社会福祉対策」の後退や、「新型コロナ対応」の失敗、「強権政治」「腐敗政治」強行の「安倍・菅直系政治」の三番煎じを続けるのかが問われています。

今月の衆議院選挙は市民と野党の共闘を強化し自公政権を倒して新しい政権をつくりましょう。

さて今月から仲間づくり月間がはじまりました。越谷支部の組合員は前回総会時より大巾に減少しています。

今回は少しでも取り戻そうと、役員会で左記の内容で組合員の皆さんのご協力をお願いすることになりました。

「あなたの知り合いの未加入者を紹介して下さい」「あなたの知り合いを仲間に迎えたいと思います」役員はその先頭に立ってガンバリます。

一人でも多くの仲間を増やしていただくと共に、仲間づくりの成功のために知人、友人の紹介をしてください。よろしくお願いします。

２０２１年10月　吉田健治

## 第56回シティウォーク
## 「大宮花の丘農林公苑」を散策

9月27日（月）、まだコロナの緊急事態宣言は解除されていませんでしたが久々の屋外の散策を楽しもうと第56回シティウォークを実施しました。

行き先は大宮の「大宮花の丘農林公苑」です。9時に南越谷駅南口広場に集まったのは吉田（健）、古川、鈴木（と）、足立、五十嵐、森山（久）、石山（京）、坂本、飛山（幸）、山本の10人（敬称略）。

9月30日に緊急事態宣言が解除された事で次はもっと参加者もふえるでしょう。

武蔵野線で武蔵浦和で乗り換え、川越線で大宮の二つ先の「日進駅」下車（日進は初めてという参加者が多かった）。

天気は曇りで暑くもないウォーキング日和。

途中番場公園を経由して「大宮花の丘農林公苑」へ（ここで用事のあった飛山さんはバスで次の目的地に）。

ここは10haの敷地に3haのお花畑。

春は一面のチューリップ畑、今の時期は見渡す限り真っ赤に染まったサルビアや青のサルビア、コスモスなどが咲き乱れていました。

しばらく散策した後昼食交流。

持ち寄った手料理を交換しながら缶ビール等を楽しみました。

帰りは無理をせず、バスで高崎線の上尾駅へ。料金百円にしてはえらい乗り甲斐がありました。上尾の喫茶店で反省会。

帰りの駅では足の悪い人はエレベーターを利用しました。

（五十嵐）

## 点睛
## 米価暴落から農村を守ろう

実りの秋をありがたく味わう季節になりました。コロナ禍で米価が大暴落しています。先人から営々として受け継ぎ、人々の命やわが国の歴史、文化を支えてきたコメ作りが崩壊しかねない深刻な事態です。農業従事者のみならず、日本国民にとっても大問題です。

1俵（60Kg）当たりの生産者米価は1万円を割り込む異常な状態です。生産コストをまかなうためには、1俵、1万5千円が必要と農水省が試算しています。

生産費もまかなえなく、米作りを続けることができない米価になっています。

２０１８年に、政府は米の生産調整から撤退し、農業者まかせにして、家族経営を粗末に扱い、価格保障、所得補償を切り下げてきました。そこにコロナが襲ってきて、需要が激減しました。

ところが政府は、何一つ手立てをとらないまま放置してきた、それが今日のコロナ禍でさらに、大暴落をつくってきたのです。過剰在庫を理由に史上最大の減反拡大をコメ農家に押しつける一方で、国内需要の1割に及ぶ77万トンものミニマムアクセス米の輸入を続けています。

国の責任でコメのセーフティーネットを確立し、過剰米を政府が買い入れ、市場から隔離、価格を安定させ、買い上げたコメをコロナで生活に困っている方や、学生のみなさん、そして子ども食堂などにコメをまわすべきです。

9月8日、野党4党と市民連合で総選挙にむけた共通政策を合意し、「農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する」ことを明記しました。

「食料安全保障を確保する」ということは、食料自給率を上げるということです。

自給率50%を早期に回復していく。

総選挙で、市民と野党の共闘を必ず勝利させ、政権交代を実現し、農林水産業を再生する新しい政権をつくるため頑張りましょう。

（川原利雪）

**11月より（「クラブ活動案内」参照）**
**「南部カラオケ」「北部カラオケ」再開**　　**コロナ対策はしっかりと！**